

2. 石川県白山市 申請資料抜粋

地域のプロジェクト名	ご縁をくくる HAKUSAN
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	石川県白山市
1. ご当地・施設の特徴	<p>石川県白山市は、平成17年に1市2町5村が合併により誕生した、県内で最も大きな面積を有し、人口約11万人の市である。観光都市金沢に隣接し、白山市の名前の由来であり、日本三名山の一つである霊峰白山の山頂から日本海まで、標高差が大きいのが特徴である。平野部においては、都市化等が進み、山間部では過疎化が進む一方、豊かな自然と昔ながらの生活文化を今なお受け継いでいる。市全体をエリアとする「白山手取川ジオパーク」は平成23年に日本ジオパークに認定され、令和2年には国内推薦を受けて、現在ユネスコ世界ジオパーク認定に向けて積極的に活動を進めているところである。</p> <p>また平成22年度に恋人の聖地として選定されていた「一里野温泉/白山温泉郷」と市内の恋人たちが集うスポットとなり得る箇所を結び付け、市域全体の回遊を促進させることを目指し、令和3年度「ご縁をくくるHAKUSAN」と名称を変更し、市全域がオール白山として一つになって恋人の聖地プロジェクトに取り組んでいる。</p>
2. 地方創生に結びつく活動目標・目的などについて	<p>白山市は霊峰白山から日本海まで豊かな自然環境に恵まれている。また、祭りや食文化など地域固有の歴史・文化が色濃く残るとともに、市域全体が白山手取川ジオパークとして日本ジオパークの認定をうけているなど、多くの地域資源を有している。地域の特性を活用し、魅力の再発見や磨き上げ、新たな魅力の作り上げも行い、活力あふれるまちの持続的発展を目指す。</p>
3. 地方創生に結びつく活動・実績などについて	<p>①恋人の聖地観光協会と連携した観光施策の展開 とくナビメール配信等</p> <p>②恋人の聖地に選定されている一里野温泉の魅力向上を図り、観光誘客の拡大 イルミネーション事業と拡充事業（ナイトゴンドラ・シャトルバス運行）、バレンタイン誘客キャンペーン事業</p> <p>③白山手取川ジオパーク内の地域資源を活用してブランド化等による観光誘客の拡大 獅子吼高原サンセット営業（部内連携）、獅子吼高原再整備事業</p>

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)



＜白山一里野温泉スキー場＞

平成29年度より始まった白山への登拝をイメージした「一里野イルミネーション」。約1万3千個のLEDライトが会場である白山一里野温泉スキー場ゲレンデと一里野公園ガゼボを彩る。



＜白山一里野温泉スキー場ラブ Gondola＞

「恋人の聖地」観光誘客連携事業による地域活性化事業としてお目見えしたラッピング Gondola。赤・ピンク・レインボーの3台の Gondola。多くのマスメディアに取り上げられるなど、人気の Gondola となっている。来訪者には話題性があり、評判が良かった。



＜ナイト Gondola 運行＞

2020年度白山一里野イルミネーション事業のオープニングに合わせて、初めて Gondola 夜間運行を試みる。はじめ Gondola 20機運行だったが、乗り場に50mほどの列ができたため、翌日は30機に増やした。3日間で1,194人が乗車した。しかし密を避けるため山頂の人数制限があり、残念ながら Gondola に乗車できなかった方も多かった。



＜シャトルバス運行＞

2020年度 Gondola 夜間運行期間中、道の駅瀬女から白山一里野温泉スキー場までシャトルバスを運行した。道の駅瀬女から一里野温泉までは、暗くて山道であるため、年配や女性の方々には、好評だった。



<バレンタイン誘客キャンペーン事業>

バレンタインデーに合わせて、一里野温泉スキー場と道の駅瀨女に大型のリボンやハートを描いたフォトフレームを設置した。カップルや夫婦、家族で記念撮影した写真を恋人の聖地プロジェクト事業の一つのフォトコンテストに投稿してもらった。

<恋つゝみ>

石川県立翠星高校(白山市所在地)の生徒が考案し、第11回全国和菓子甲子園において、石川県勢として初めて優勝し、県民文化優秀賞を受賞した幸せの菓子「恋つゝみ」。白山比咩神社の恋文奉納をモチーフとしている。地元の和菓子店が商品化され、道の駅瀨女でのバレンタインイベントで1日限定100個2日間買い物客に贈られた。



<獅子吼高原サンセット>

獅子吼高原から望む手取川扇状地は、白山手取川ジオパークの見どころの一つで、扇状地の幅は19キロメートルと日本一の大きさである。絶景の景色が広がり、世界的にも高く評価されている。

2021年10月には、市役所部内の連携を図り、例年とは違うサンセット営業(ナイトゴンドラ)を実施した。例年の屋台営業だけではなく、音楽コンサート、外国人住民の母国の手作りお菓子屋民芸品の販売、ジオパークPRゲーム、山頂ジオガイドを実施した。コロナ禍であり周知する日にちがなかった中、想定外の盛況だった。日没の風景や夜景を楽しんでもらえた。3日間で3,087人が山頂に上がった。

<獅子吼高原再整備事業>

獅子吼高原は、日本の夜景100選にも選ばれており、そこから眺める手取川扇状地の美しさは日本屈指である。この素晴らしい景観をオープンから数十年が経過した痛みの激しい設備等が妨げとなっているため、2021年度には、獅子吼高原の景観を活かした整備を実施しており、更なる誘客を図る。